



学校だより

10月号

自ら学び考えることができる生徒

感性豊かで思いやりのある生徒

心身ともに健康な生徒

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる
さしのべる 生きている」

令和2年10月1日

大田区立糀谷中学校

校長 小島 宏一郎

「大坂なおみ選手の活躍から」 9/14 全校朝礼講話より

校長 小島宏一郎

おはようございます。

9月12日土曜日の道徳授業地区公開講座では、1、2年生を対象に外部の講師を招き、「いのちの授業～がんを通して～」の講演会を実施しました。講師の先生のお話から、命の大切さについて、相手に寄り添うこと、感謝すること、夢をもつことなど、様々なことを学ぶことができました。

さて、皆さんもテレビのニュース等で見聞きされたことと思いますが、昨日、女子プロテニスの大坂なおみ選手が全米オープンで2度目の優勝を収めました。

大坂選手の持ち味は、強烈なサーブに見られるパワーだと言われていますが、テレビの解説者は、今回の大坂選手の勝因はディフェンスカの強さであると話していました。

この大会で大坂選手は相手にどんなに左右へ揺さぶられても、体勢を崩さないで打ち返し続ける粘り強いプレーを見せてくれました。その秘密は、コロナの自粛期間の生活にあるようです。プロテニスの試合もコロナの影響で中止や延期になり、大坂選手もしばらく隔離された環境で練習を続けていました。その間に、大坂選手がトレーナーと徹底して行ったのは、フットワークトレーニングと体幹トレーニングだということです。つまり、体の基礎をしっかり作り、基本的なフットワークの練習を繰り返し続けたことが、強いディフェンスカにつながったということです。大坂選手の活躍から基礎・基本の大切さを改めて教えられた気がします。

それからもう一つ、この大会で大坂選手がぶれずに示してくれたものがあります。それは、信念の強さです。

今回の大会では、大坂選手にとってはテニスの試合以外にも一つの戦いがありました。それは、人種差別との戦いです。6月にアメリカ起きた白人警官による黒人暴行死事件の後、大坂選手はSNSで積極的に人種差別に抗議する声を上げていました。これに対し

「スポーツに政治を持ち込むな」といった批判の声が上がりましたが、大坂選手は「これは政治の問題ではなく人権の問題だ」と反論し、差別への抗議を続けました。今回の大会では、犠牲になった黒人の名前の入ったマスクを7枚用意し、毎試合違う名前の入ったマスクをつけてコートに入ったことが話題になりました。多くの犠牲者がいることを知ってほしい。これも勝利へのモチベーションにつながったようです。

大坂選手が優勝後のインタビューで話していた言葉を紹介します。

「苦しい時間はあった。こうやってバブル(隔離された環境)の中にいると、色々と考えすぎてしまうこともある。乗り越えられたのは、自粛期間中にこの大会で勝てるよう準備してきたから。すごく努力したから、優勝できる機会を得たかった。それに多くの人に、一人でも多くの(犠牲者の)名前を見てほしかった」

優勝したいという強い思いが、感じられました。

さて、話は変わりますが、今学期は2度の定期考査があります。2学期になり、少しずつ勉強も難しくなり、授業でわからないことが増えてきた人もいるのではないのでしょうか。授業の様子を見ていて、集中力が続かず心配な人もでてきました。

授業をわかるようにする秘訣を一つ教えます。それは、予習に力を入れることです。1時間の授業を最初から最後まで50分間集中して受けるのは大変です。あらかじめ授業の内容に目を通し、わかることとわからないことははっきりさせておけば、授業で集中しなくてはいけないポイントがはっきりします。

ぜひ、復習に加え、予習にも力を入れて家庭学習に取り組んでみましょう。



「いのちの授業～ガンを通して」

9月12日の道徳授業地区公開講座では、1, 2年生を対象に(株)ロハス・メディカル・ジャパンの川口利氏の進行で講演会「いのちの授業～ガンを通して」を実施しました。講師は、医療従事者側講師として血液内科医師の久住英二氏、患者側講師として20代で子宮頸がんの治療をされた阿南里恵氏のお二人です。久住氏は医師の立場から、死亡原因第1位である癌(ガン)について、わかりやすく教えてくださいました。元患者の阿南氏からは、闘病の体験を通して思ったこと、考えたことを伝えていただき、生きるとは何か? 幸せとは何か? を考える機会になりました。

生徒の感想をいくつか紹介します。

- 私が今、元気で生きていることのありがたさを感じました。生きていることって当たり前のことではなく、実際に死ぬかもしれないと思ったことがあるから、今の当たり前じゃないことが分かるんだろうなと思いました。ガンは2人に1人がなると聴いて、私にもなる可能性があると考えました。そして、とても身近にある病気なんだと思いました。(1年)
- がんは2人に1人がかかると聞いてとても身近な存在になりました。なのでがんにかからないように少しでも予防するための健康的な生活を送りたいです。がんにかかってしまった人の話を聞き、本当につらいことなんだと改めて思いました。治療や手術だけではなく、がんが治った後でも後遺症があることを初めて知りました。今つらいとおもっていることはとても小さいことだと感じました。(阿南さんは)がんになってしまって失ったことがたくさんある中、自分にできることを探し夢を見つけて行動していてとてもすごいなと思いました。(1年)
- 私が特に心に残ったことは、あるものを探して、あるものに感謝することです。よく私も、違う性格だったらこんなに深く考えずにすんだのにな、などと思ってしまいます。けれど、今回の阿南さんの話を聞いて、自分の持っていることを、自分らしさが大切だということに気がきました。阿南さんのように多くの人を元気づけられるようになりたいです。(2年)
- 私は阿南さんが言っていた「皆、明日を生きているかも分からない」という言葉を聞いて、改めて生きていることは、当たり前ではなくて、今この瞬間にも辛い思いをしている人が沢山いるんだなと実感しました。今日から自分が健康で楽しい生活が送れることに感謝したいと思います。そして、私も阿南さんのように誰かのためになることをしていきたいと思います。(2年)



早寝・早起き・朝ごはん月間(大田区)
体力づくり強調月間(スポーツ庁)

31日に今年度初めての全校行事「体育祭」を行います。今年度は、生徒席の間隔を1メートル以上開ける必要があり、来賓席・敬老席、保護者応援スペースを十分に確保できないため、無観客での開催といたします。何卒、ご理解くださいますようお願いいたします。

10月の行事予定

日	曜日	予定	日	曜日	予定
1	木	都民の日、内科検診(2年)、生徒評議会	17	土	
2	金	英検(1, 2年午後カット)	18	日	
3	土		19	月	学年朝礼、①体育祭全校練習
4	日		20	火	⑤⑥1年学年練習
5	月	全校朝礼、安全指導、校内研修会(6カット)	21	水	①②2年学年練習、③④3年学年練習
6	火	尿検査2次、避難訓練	22	木	歯科検診(3年、2年CD)、⑥3年進路説明会
7	水		23	金	漢検 ①②3年学年練習、③④2年学年練習、⑥全校練習
8	木				
9	金	生徒会役員選挙・立会演説会	24	土	
10	土		25	日	
11	日		26	月	①全校練習、⑤⑥1年学年練習、専門委員会
12	月	生徒会朝礼	27	火	体育祭予行
13	火	耳鼻科検診	28	水	①②2年学年練習、③④3年学年練習、生徒評議会
14	水	領域別診断テスト(3年)、職員会議	29	木	体育祭予行(予備)、③④1年学年練習
15	木		30	金	③全体練習、④前日指導、⑤⑥前日準備
16	金		31	土	体育祭